

西尾市事務評価シート

事務No.	29-032	事務内容	防疫事業				
総合計画施策コード	55-	事務開始年度	不明		担当課名	ごみ減量課	
予算科目	04款	01項	09目	大事業	02	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	防疫事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市内の環境衛生保全のため。
事務の対象 (誰(何)のために)	側溝等に発生する害虫(ハエ、蚊等)の駆除を要望する町内会等のため。
事務の概要 (具体的に何を)	市が保有する煙霧機の貸出し事務を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	0円	0円	0円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	煙霧機の貸出し件数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	煙霧機の貸出し件数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	0円		0円		0円		

●事業の終期

事務No. 29-032

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成35年
事務の終了時期が未定の場合の理由	煙霧機の借用を要望する町内会等がある間は貸出しを行う。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性 有効性	市が実施することが適切であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3
ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		2	事務時間は適切なものになっているか		3	
課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		2	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか		2	
有効性		事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	2
		事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	2
		事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	2
評価の総合的なコメント	煙霧機の貸出し対象が毎年限られた町内会等のため受益者に偏りがある。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	煙霧機の貸出しは、町内会等から要望がある間は行うが、防疫事業の予算は、修繕料（15,000円）だけであるため、草刈機の貸出しを行っている空き缶等散乱防止事業に統合する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事務全体の課題	家庭からの生活排水については、下水道等の接続により側溝等には害虫が発生しなくなり、町内会等で行う防疫作業はほぼなくなりましたが、以前、市で購入し、町内会に配布していた薬剤の在庫があり、処分方法に課題がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	煙霧機の貸出し：A市（実施している）、B市（実施している）、C市（実施している）
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	町内会等からの煙霧機借用の要望がなくなれば、貸出し事務は終了する。
--------	-----------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	社会情勢の変化や受益者の偏り等を勘案し、廃止に向けた検討が必要と思います。
----------	---------------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	29-049	事務内容	生ごみ減量化事業				
総合計画施策コード	551	事務開始年度	不明		担当課名	ごみ減量課	
予算科目	04款 02項 02目	大事業	02	中事業	03		
事務事業名 (中事業名)	廃棄物資源化事業 (生ごみ減量化事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	家庭から排出される可燃ごみの中で多くを占める生ごみを減量するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	生ごみの減量を行なう市民のため。
事務の概要 (具体的に何を)	生ごみ処理器(機)の購入者に補助金を交付する。また、一色町佐久島地区の生ごみ処理施設(2か所)稼働に伴う保守点検、修繕、光熱水費の支払い事務を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	2,504,000円	2,204,000円	2,665,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	3,918,597円	3,624,922円	4,102,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,918,597円	3,624,922円	4,102,982円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-293,675円	H29 総事務費③の対前年度比率	-7.49%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	補助金	生ごみ処理器機購入費補助金	862,000円	
	光熱水費	生ごみ処理施設電気料、水道料	862,760円	
	委託料	生ごみ処理施設保守点検委託料	401,143円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	生ごみ処理器(機)購入費補件数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標						
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		34,678円		32,365円		37,300円	

●事業の終期

事務No. 29-049

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成38年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	生ごみ減量促進の具体的な方策として、生ごみ処理器（機）購入費補助を西尾市一般廃棄物処理基本計画に掲げているため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	2	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	生ごみ処理器（機）購入費の補助が生ごみの減量になっているのか数字的な根拠が表れていない。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	補助金交付で事務が終了しているため、交付後の効果の検証がされていない。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事務全体の課題	生ごみ処理器（機）利用によるごみの減量について、市民への追跡調査を行う必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	生ごみ処理器（機）購入費補助金交付：A市（実施している）、B市（実施している）、C市（実施している）
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	適性な補助金交付件数見直しの検討を行う。
--------	----------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	補助金交付先へ追跡調査を行うなどして目的を達成するための目標を明確にし、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	29-050	事務内容	ぼかしの配布				
総合計画施策コード	551	事務開始年度	平成7年度		担当課名	ごみ減量課	
予算科目	04款 02項 02目	大事業	02	中事業			03
事務事業名 (中事業名)	廃棄物資源化事業 (生ごみ減量化事業)						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	家庭から排出される可燃ごみの中で多くを占める生ごみを減量するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	生ごみの減量を行う市民のため。
事務の概要 (具体的に何を)	発酵堆肥化促進剤(ぼかし)を希望者に無料配布するため、配布場所(29か所)へのぼかしの納入と、申込者のデータ入力事務を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	4,672,000円	3,432,000円	3,814,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.2人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	1,437,982円	
総事務費③(①+②)	6,086,597円	4,852,922円	5,251,982円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	6,086,597円	4,852,922円	5,251,982円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-1,233,675円	H29 総事務費③の対前年度比率	-20.27%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	消耗品費	ぼかし購入費(19,319袋)	3,391,015円	
	印刷製本費	ぼかし引換券作成(2,000枚)	40,608円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	ぼかし配布数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		26,345	袋	19,319	袋	21,600	袋
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	家庭系可燃ごみ排出量					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		34,227	トン	34,357	トン	34,000	トン
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		231円		251円		243円	

●事業の終期

事務No. 29-050

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成38年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	生ごみ減量のための具体的な方策として、ぼかしの無料配布を西尾市一般廃棄物処理基本計画で掲げているため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	2	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	2	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	2		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	2	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	ぼかしの無料配布が生ごみの減量になっている数字的な根拠が表れていない。また、ぼかしの利用が適正でない市民も見受けられる。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	ぼかしの利用方法も様々であり、無駄な配布にならないよう配布数等を検討する必要がある。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事務全体の課題	ぼかしの利用にあたって、本来の正しい使い方がされていない世帯が多く見受けられるため、正しく利用していただくよう説明に努める。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	ぼかしの無料配布：A市（実施していない）、B市（実施している）、C市（実施している）
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	適正な配布数（世帯数、世帯あたりの袋数）の検討を行う。
--------	-----------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	目的を達成するための目標を明確にし、限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---